

県政に対する意見・要望（要旨）と県からの回答

◆ 安心（２）

<高齢化>

○ 私は今、介護老人保健施設で働いています。入社して一番驚いたのは80才以上の高齢者が多数入所されていた事です。更に入所待ちの方が300人弱という事にも驚きました。順番待ちの間に亡くなる方も多いと聞き、大問題だと実感しました。

介護付有料老人ホームは一般庶民には高くて手が届きません。高齢化社会が進む中で、まだまだ軽費老人施設が不足しています。

子供優先の福祉より、高齢者福祉の充実を切に希望します。

（平成23年6月 半田市 60代女性）

[回答]

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

介護保険制度の基本的な考え方は、「高齢者ができる限り住み慣れた地域で安心して暮らし続ける」こと、及び「介護サービスが必要な方が必要なサービスを適切に受けられる体制を構築する」ということも重要です。

ご指摘いただきました施設への入所申込者が多数お見えになることは愛知県としても承知しており、真に施設サービスが必要となった方が速やかに施設入所できるよう、愛知県高齢者保健福祉計画を定め、愛知県を11の圏域において、圏域ごとに均衡を図りながら、特別養護老人ホームや老人保健施設を始めとする介護保険施設等の計画的な整備を図っているところです。

たとえば、半田市を含む知多半島圏域では、平成23年度中の開設を目指して、特別養護老人ホームを130床、老人保健施設を100床分の整備を予定しており、地域密着型特別養護老人ホーム（29人以下の特別養護老人ホーム）5施設の整備を進めているところです。

また、愛知県としては、このまま少子高齢化が進んでまいりますと、社会保障を支える生産年齢人口が減少していき、将来に渡って安定した社会保障制度を維持することが難しくなっていくため、高齢者に対する福祉の充実はもちろんですが、若い世代が安心して子どもを生み・育てられる環境の整備にも努めているところであり、ご理解賜りたいと思います。

【健康福祉部】

<保健医療>

- 愛知がんセンター尾張診療所が尾張地区のがん治療の拠点となるように大きく育てて下さい。尾張地区の人は、名古屋まで通うことが多く、お年寄りや独り身の方にとっては、がん治療と同じくらい大きな負担だと思います。建物や施設は、他の病院と比べても決して負けていません。昔から地域では尾張病院として親しまれてきました。今の静まりかえった姿は、あまりに寂しく、また、これまでの投資がもったいないと思います。これから、大きなブランドとなる様に努力をお願いしたいです。

(平成23年5月 稲沢市 20代男性)

[回答]

このたびは、貴重なご意見をありがとうございました。

循環器呼吸器病センター（旧尾張病院）の廃止後の後利用としまして、昨年10月にがんセンター尾張診療所を開設しまして、乳がんの二次検診を実施しております。

なお、本年4月からは、がんセンター中央病院での混雑の緩和と尾張西部、北部方面の患者さんの利便性の向上を図るために外来化学療法を開始しました。

今後も、がんセンター中央病院と連携をとりながら、地域の皆様に利用していただくよう努力してまいります。

【病院事業庁】